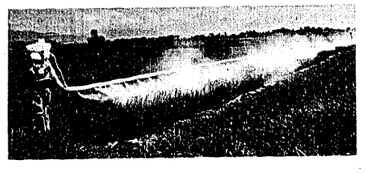
市議会 6月定例会

市議会6月定例会は、6月21日に招集され、30日まで開かれました。この議会では、議案15件、請願13件の審議や審査が行われましたが、議決事件のおもなものは、次のとおりです。

一般会計予算 スポーツ公園工事費など追加

補正額 一億二千九百万円

一般会計予算は、二回めの補正を行い、一億二千九百五万五千円を追加しました。このことにより一般会計予算の総額は、四十二億一千三百七十九万一千円となり、昨年同期に比べると三億七千二百七十七万五千円増加しました。その主な点を紹介します。（一万円未満は切り捨て）



▶豊作を願い、もん枯れ病予防の農薬散布が行われています。（長場地内）

歳入

別交付金が百四十六万円追加されました。

交通安全対策特

下水路や公園などの都市計画事業に対する国庫補助額が決定し、千二百万円減額しました。

中央競馬会環境整備補助金が、六百六十五万円追加されました。

予期しない歳入減少や不時の歳出増加に備えて積み立ておく財政調整基金から、一億三百万円繰り入れました。

臨時市町村道整備債を三千二百十万円追加して、都市計画事業債を六百五十万円減額しました。

歳出

総務費

長浦出張所の消火栓の工事費三百二十七万円を計上しました。

豊栄駅前に蒸気機関車の動輪を展示することになりましたが、その経費五十二万円を計上しました。

民生費

加治川村に建設する下越ミニコロニー設立準備委員会の負担金六十万円を計上しました。

水原町にある特別養護老人ホーム運営資金寄付金百五十四万円を計上しました。

新潟の若葉保育園と岡新田のめぐみ保育園の敷地購入費四百四十七万円を計上しました。

衛生費

不燃物埋立地境界用の囲い設置工事費百六十一万円を計上しました。

清掃業者の設備整備貸付預託金百二十万円を計上しました。

土木費

豊栄水原線などの道路新設改良費一億円を追加しました。

公園の修繕料百六十万円を追加しました。

阿賀野川河川敷内に建設するスポーツ公園の第一期工事費と計画策定に要する経費三百五十万円を計上しました。

教育費

公民館分館建設費補助金八十四万円を計上しました。これは十二と庚塚の分館に対するものです。

市道の認定

次の四路線が、市道として認定されました。

○尾山団地の競馬場道路から樋ノ入方面へ分岐する尾山団地樋ノ入線（延長四百二十五㍍）

○森下地内の森下五号線（延長百六十三㍍）

○上大月地内の上大月内線七号（延長百二十四㍍）

○上大月地内の上大月内線八号（延長百十五㍍）

なお、上大月内線二号（延長九十㍍）は、市道路線からはずされました。

市議会の委員会条例を改正

豊栄市議会委員会条例の一部が、改正されました。

これまで市議会には総務、文教、建設、社会経済の四常任委員会が設置されていましたが、これを総務文教、建設、社会経済の三常任委員会に改め、委員数も十人ずつと平等にしたものです。

この改正目的は、各常任委員会の専門的知識でもって、議案の予備審査を慎重に行って、ひいては本会議における審議のスピード化を図ろうとするものです。

任委員会が、設置されていましたが、これを総務文教、建設、社会経済の三常任委員会に改め、委員数も十人ずつと平等にしたものです。

この改正目的は、各常任委員会の専門的知識でもって、議案の予備審査を慎重に行って、ひいては本会議における審議のスピード化を図ろうとするものです。

監査委員に芳賀さん

芳賀銀次郎さん（六十六歳上大月）が、市議会の同意を得て、七月一日付けで、市の監査委員に就任されました。

これは、五十年七月から監査委員であった飯島辰雄さん（潟端）が、健康上の理由で辞任を申し出ておられたことによるものです。

芳賀さんは、長浦村助役、長浦農業協同組合長、豊栄町議会議員などを歴任され、以前にも市の監査委員を経験しておられます。

交通安全指導隊を条例化

市の交通安全指導員については、これまで規則で規定してきました。これを条例化し更に交通安全対策事業を、積極的に推進しようとするもので、隊員に非行があったときなどの免職規定も組み込まれました。

昭和五十一年度の市の各会計決算見込みが出ました。

この決算は、市監査委員の審査を経て市議会の認定に付されますが、この概要をお知らせします。

昭和五十一年度の決算見込み

各会計とも黒字決算

この年度の実質黒字です。

前年度（五十年度）決算との比較では、歳入が二二・〇㌫、歳出が二一・四㌫それぞれ伸びています。

歳出のうち建設事業にあて会計は、この年度には黒字決算となりました。

一般会計

歳入八億七千五百六十万九千円、歳出八億三千二百五十七万二千円、差引四千三百三七万七千円の黒字です。このうち、保険給付に必要な費用に不足を生じた場合に備えて、国保給付準備基金として三千万円ほどを積み立てます。

保険給付費は、前年度（五十年度）より一二・九㌫ほどの伸びにとどまりました。

黒字となった理由としては、当初見込まれた医療費の改定が、この年度内に実施されなかったため、保険給付費が割合少額だったことがあげられます。

歳入　四十一億九千三十万七千円

歳出　四十億七千三百八十四万七千円

歳入歳出差引一億一千六百四十六万円となりますが、このうち継続事業（葛塚東小、（阪）新井郷川小の建設）や予算に計上したけれども年度内に完成できず翌年度へ繰越されるもの（道路改良舗装費や長浦地区総合施設建設費など）、あるいは支払いを翌年度に繰り延べるもの（農道舗装費）などの総額が九千五十二万七千円になり、これをさらに差引した二千五百九十三万三千円が、

国民健康保険特別会計

前年度実質赤字だったこの

水道事業会計

五十一年度の給水量は、前年に比較して二・三㌫の伸び率にとどまりました。しかし漏水防止等に力を入れたために、料金収入は、二五㌫増加しました。

一方、経常的経費や臨時的経費の増加で、財政運営に厳しい面もありましたが、経費節減等の努力の結果黒字決算となり、三千四百三十五万五千円の純益見込みになりました。

建設事業としては、企業債二億千五百万円と自己資金等六百二十万千円を投じて、第五次拡張事業第一年次分等を実施しました。この結果、従来の一日最大給水量一万立方㍍から一万五千立方㍍に増強され、当面の水不足は緩和されることになりました。

嘉山地区に住居表示

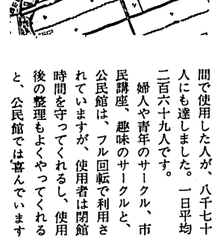
八月一日から実施

八月一日から図で示した地域について住居表示を実施することになりました。

新町名は、嘉山一丁目から六丁目までです。八月一日から住所を書いたりするときに間違いのないようにしてください。

なお、実施区域は町浦川、神山線（通称）、葛塚東港線、新井郷川で囲まれた部分の次の自治会です。

町浦、中嘉山の大部分、下嘉山、前新田の一部、杉名町第一の大部分、中嘉山団地、上土地亀の一部、川端町の大部分



（街区表示板がつきます）

中央公民館

使用者一か月八千人

新築なった中央公民館は、「きれいになった」、「便利になった」と、市民から好評を得ていますが、六月一か月間で使用した人が、八千七十人にも達しました。一日平均二百六十九人です。

婦人や青年のサークル、市民講座、趣味のサークルと、公民館は、フル回転で利用されていますが、使用者は閉館時間を守ってくれるし、使用後の整理もよくやってくれると、公民館では喜んでいます

農地の転用に注意

農地を他の目的に使用するため、埋め立てや盛り土、掘さく、建築などを行う場合は、農地法などによる許可を受けなければなりません。

豊栄市では、市街化区域を除いた地域は、すべてが農業振興地域に指定されています。このうち農業用地区域では、農業用の施設を建てる以外は認められません。

農用地区域以外の区域では、農家の住宅や分家するための住宅建築あるいはその集落内の住民を対象としたサービス業を営むための施設の建築などが認められます。